

## 第77回市民ふれあいトーク 【一緒に考えるこのまちの地域力】

日時 平成30年4月20日 18:30~20:00

場所 茶屋町公民館

### 要約版

#### 《市長》

皆さんこんばんは。今日は夕方のお忙しい時間帯に、市民ふれあいトークに足を運んでいただきまして大変ありがとうございます。今回第77回ということになりまして、市内の各地区とか、またテーマによりまして、例えば子育て支援とか働く皆さんたちの仕事とか農業とか、そういう形で進めてきているところでもございまして、今回は茶屋町公民館ということで、主に東陽中学校区の皆さんにお集まりをいただいたと思っております。テーマは「一緒に考えるこのまちの地域力」ということで1時間半ぐらい、皆さんとお話できればと思っております。

最初に私の方から10分少々、今の倉敷市の全般的な状況などについて、お話させていただいて、そして皆様の方から地域の中での関心事、それから倉敷市全体のことでも結構ですけれど、ご意見をいただき、また意見交換できればと思っておりますのでよろしく願いいたします。ご質問をいただきまして、私が全部パッと答えられるかどうか分かりませんが、今考えている事などについてお話をさせていただければと思っております。

まず茶屋町公民館におきまして、主に東陽中学校区の皆さんがいらっしゃっていると思いますけれど、本当に倉敷市の中でも大変住みやすく、また元気がある地域だと思っております。人口も10年前と比べてみただけですけれど、大体東陽中学校区全体で10年前が合計で大体2万人くらいだったんですけれど、それが今2万2千人くらい。10%くらい増えておりまして、倉敷市全体の人口は今大体横ばいなんですけれど、その中でも当地区については人口が増えていて、倉敷市の中心部にも、また岡山市にも近く、そして茶屋町の駅もありまして2号線もあるということで交通の便も良いということで、住みたい方が非常に多い地域だというふうに思っております。

小学校も、茶屋町小学校は今市内で一番多い人数で、1,300人くらいだと思いますが、大きな小学校で、地域の皆さんのご協力をいただきまして、いろいろ時間がかかりまして皆さんにご心配をおかけしておりましたが、茶屋町東幼稚園とそれから体育館を合築をした建物を来年の秋くらいには何とか造りまして、そのような計画で進んでおります。また豊洲小学校区におきましても、子どもさんの保育のニーズが高いということで、先日も西田保育園が新たに開設いたしましたし、また今、豊洲の幼稚園の区域の中でも保育の需要がさらに高まっているということで、そういう需要に対応できるようなものも今検討したりしているところでございます。

さて、倉敷市全般のことで直近の話題と言いますと、4月10日に瀬戸大橋が開通30周年を迎えまして、先日与島で式典などもあり、また児島のボートレース場では大きなイベントがありまして、ブルーインパルスが6機来たんですが1機が途中から不具合になってしまいまして、5分くらいで帰ってしまいまして大変残念だったんですけれど、自衛隊の方にもお願いをしまして、来ていただいたりしました。児島駅、茶屋町駅と開通をしましてから、非常に多くの方に四国、本州との大動脈としてご利用いただいているところでございます。

そして一番直近の話と言いますと、実は昨日、三菱自動車の益子修CEOさんとルノー・

日産・三菱の共同会社で部品を調達されますトップの方がフランス人の女性の方なんです  
が、倉敷市役所と水島製作所を訪ねて来てくださりまして、我々も一昨年のことがありま  
したので非常に心配しておりましたが、こちらのいろいろな優位な状況とかを一生懸命お  
話しまして、そうしましたら、水島には非常に多くの取引企業の皆さんが集積をしている。  
他の三菱の大きな工場と比べてもこちらの方は工場と部品メーカーの皆さんが、大体数キ  
ロ以内くらいにあって、そこでほとんどの物が調達できるということで、非常に競争力が  
高い。港もすぐ横にあるので、輸出や輸入についても非常に効果があるということで、前  
の三菱だけだった時よりも私を感じるのには日産とかとも一緒になりまして少し上の方に  
評価をいただいているような気がしまして、車の製作の方も一昨年は燃費のことがありま  
して20万台くらいに落ち込んでしまったんですけど、去年は24万台くらい、それで  
この2018年度は大体29万台か30万台くらい造っていただけるということで、多分  
あと1、2年くらいの間で40万台近くまで多分造っていただけるんじゃないかというふ  
うに思っておりまして、一時期は水島では40万台くらい造っていたんですけど、その  
頃のようにまた戻っていくように頑張っていきたいと思っております。

この茶屋町の公民館があります地区、また古くはイ草を生産しておりました東陽中学校校  
区また庄のあたりもそうですけれど、昨年この倉敷市の繊維産業のこれまでの発展という  
のが、文化庁から日本遺産というのに認定になりまして、今倉敷市でも一生懸命それをP  
Rしているところでございます。ちなみに皆さんの中でこの日本遺産の名前を、倉敷市が  
この日本遺産に認定されたというのを聞いたことがある方、どのくらいいらっしゃいます  
か。(挙手) ありがとうございます。大体半分くらいでございます。

倉敷市が一举に世界遺産に行くのはなかなか難しいわけです。まず日本遺産から取り組  
んでいこうということで、この日本遺産というのは日本の各地の産業、歴史の中で、その  
地区がなぜ今のまちづくりになっているのか、ということをつかりやすく、そしてその地  
区の歴史・伝統が分かるようなものを文化庁の方に。つまり日本国内、それから海外の方  
もたくさん来られておりますので、海外の方にも日本の素晴らしいところを知ってもら  
うということが重要だということで、文化庁が認定を始めたものです。倉敷市は江戸時代か  
らの、この倉敷市内の各地区における繊維産業の発展の歴史、イ草それから綿花、そして  
それが今のイ草製品それからセーラー服、また畳、最近ではジーンズに繋がっている  
ということを一生懸命言いまして、文化庁から認定になりました。

当茶屋町地区におきましては磯崎眠亀(みんき)記念館、またその磯崎眠亀さんが作ら  
れました錦莞菴(きんかんえん)というのも対象になっております。そして繊維製品とい  
うことでこれはイ草製品、それから市の繊維製品の出荷しておりますものが対象となっ  
ておりまして、倉敷市の日本遺産の、私もこのバッジを付けていたりしているんですが、この日  
本遺産のマークを今いろいろな特産品などに付けて、そして日本遺産を倉敷市が作って  
いて、その歴史があるというのをPRするのを今一生懸命やっているところでございます。

ちなみに児島の方でもジーンズストリートというのがありまして、非常に全国からも注  
目を浴びておりますし、また玉島の方でも以前は備中綿ということでたくさん作っていて、  
今はあまり作ってないんですけど、昨年玉島のハーバーアイランドのところで、そこだ  
けじゃないんですけど、各地区のおうちとか公民館とかで綿の種をお配りしまして、久  
しぶりに倉敷市で多くの綿が取れまして、そしてそれを綿製品を作って、我々の歴史をも  
う一回、思いを新たにすることをいたしております。

もちろん観光客の方もたくさん来られております。一時期大体300万人くらいまでに美観地区の観光客の方が減ったんですけど、今は400万人くらいに回復してきて、それも最近では海外からの観光客の方も増えております。特に一昨年、サミットの教育大臣会合をさせていただいてから欧米系の観光客の方が非常に来られているということで、美観地区の商店、お店の皆さんとか、ボランティアガイドの皆さんとかにも英語とか勉強していただいたりしております。これからだんだん、各地区の方でも、海外のお客様が来られるようになってきておりますので、後からちょっと聞いてみたいんですけど、磯崎眠亀記念館に海外の方が来られるのももう間近ではないかと思っているところでございますので、是非皆さんにも今後ともいろいろな面でPRをお願いできればと思っております。

倉敷市は美観地区をはじめとします繊維産業の歴史、それから瀬戸大橋、つまり瀬戸内海の大きな素晴らしい多島美、国立公園、それから産業のまち、それから玉島や真備や船穂などの農業のまちづくり、その辺りを全般的に伸ばしていけるように、皆さんがいろいろ活躍していただけるように、そういう方向で頑張っていきたいと思っております。しゃべり過ぎですのでそろそろやめようと思えます。最初に全体的なお話をさせていただきまして、皆様の方からいろいろ教えていただければと思えますのでよろしくお願ひいたします。

それでは、今こういうふうにいるとか、こういう取り組みをしているとか、教えていただければと思えます。それでは、お願ひいたします。

#### 《参加者 A さん》

茶屋町の町内会長とコミュニティの副会長と磯崎眠亀記念館をやっておりますAです。機会あるごとに皆さんに言ってるんですけど、小学校の入学式、卒業式に毎年出席する機会がありまして、その茶屋町小学校の校歌の中に、「大倉敷市を西の空」、茶屋町は田舎ですよというような歌詞があるんです。「田舎ですよ」とは言ってないんですけど。いつも皆さんに「これはおかしいことないか？」と言ったら、「おかしいけどまあ、西の大倉敷市というのは発展しているし、こっちは田舎じゃけえ、ええんじゃねえか」と言われるんですけど、今、茶屋町駅前にはスーパーが7つくらい集合してまして、商業が非常に発展していますし、周囲から大勢来られています。これはすべて民間のお金で出来上がった繁栄なんです。ですからどうしても官民一体となった開発をして、もっと茶屋町を素晴らしいものにしたいと思っておりますので、市長さんの意気込みもお聞かせいただけたらと思えます。よろしくお願ひいたします。

#### 《市長》

ありがとうございました。本当に磯崎眠亀記念館の方を一生懸命やっただきまして、海外からのお客様の方はどうでしょうか。

#### 《参加者 A さん》

今うちの方でも日本遺産になってから英語をせにゃあいけんぞと言ってるんです。年間には何人かいらっしゃいます。英語ばかりじゃなく中国とかアジアの方も来られますので、その対応をどうしようかと言っているところです。

## 《市長》

ありがとうございました。まずまちづくりのことについてお話をいただきまして、本当に茶屋町の地区は大変人口も増えておりまして、それに伴って、小学校の建て替えなどにも進んだりしまして、一方ではご存知のように、おうちを建てる所の地域が今非常に不足しているという状況になっているところがございます、そこを地元の市議会議員の方々、また地域の皆さんからも何らかの見直しができないのかというお話もいただいているところがございます。それで市といたしましても、今、市全体のいろいろな都市計画や立地適正化計画というのがあります、これは、茶屋町はそうではないんですが、日本全体で人口減少が進んでいくという中で、土地利用とか、それから例えば駅の近くの土地をどういうふうに使った方がいいのかということなどについて、国の方からも今一度考えていこうというようなことが示されておりまして、今倉敷市も、もう一回国の計画、それから岡山県とも相談しまして、特に人口が増えている地域などについて、検討しているところがございます。

またその中で答えが出ているという段階には至ってないんですけど、一つにはこの地域の発展がもっと進んでいくように、また一方で住みやすい場所である、それから非常に安全な場所であるというふうに地域の中でなっていかなければならないと思っておりますので、今からまた将来に向けて人口が地区としてはきっとまだ上向きになっていくと思っておりますので、それに対応できるようなものに何とかならないかなという思いを持って検討していきたいという気持ちです。まだまだこれからの検討ということですので、今はそういう状況です。それから眠亀記念館の外国の方向けのことですが、是非、市の方でもそういう講座みたいなのをまたいたしますので、ご参加いただければと思っております。ありがとうございます。

## 《参加者 B さん》

すいません、今の件で。私は青パトをやっておったんですが、今言われた倉敷の土地計画法が24年10月に施行されまして、茶屋町は東西に非常に距離が短い状態で、JR線が通っている東、地図で言ったら右側、あれ全体を都市計画法から外してもらって、(市長:全体ですか…。)というのは、私が住んでからもう40年になるんですけど、市街化区域と調整区域が40年間変わらないんですね。そういった面で、駅から歩いて7分ぐらいのところに私は住んでいるんですけど、せめて1キロとか1.5キロ、歩いて15分から20分ぐらいで駅まで行けるんですよ。市長が言われたように四国方面も岡山方面も宇野方面も倉敷方面もわずか30分あったら十分行ける範囲なんです。茶屋町が発展するには、そういった農地をどんどん住宅化していただくということを考えてもらうのを、検討するという段階ではなくてもう早急に、実施していただきたいと思っています。

## 《市長》

ご意見ありがとうございました。私もできるものなら早急に市の意見を県や国に言って、地区の大幅な農業区域と市街化区域の変更というのを、これは茶屋町地区だけに限らず市内の中でできればやりたいと思うわけなんですけれど、ご存知のように農振地区の規制が非常に厳しいというのがあります、それを今ようやく、国がこれまでは絶対変えませんということだったんですけど、立地適正化計画というものを作って、その中で協議をし

ていけば、少しは変えてくれるんじゃないかというのがここ数年の動きなんです。

ですので、非常に変えるのは困難だったんですけど、国もその中で人口の全体の推移もありますので、そこで何とかこれからの日本の全体の人口を見てもそれに合わせて変えないといけないという制度も入れないといけないというのを、やっとなお重い腰をちょっと上げてくれたという状況です。全部入れるというのは難しいように思うんですけど、とにかく我々の意見はその計画を作る中で県と国に言っていきたいと思っております。

特に、当地区は非常に利便性が高い地区ですので、多くの方が住みたいと思っていらっしゃるということは私も、市の方もよくわかっておりますので少しでも改善ができればという思いは持っております。頑張っていきたいと思っております。ありがとうございます。

### 《参加者 C さん》

茶屋町で公民館の運営委員、東陽中の人権推進委員でいろいろお世話をしています。お伺いしたいのですが、今、茶屋町で耐震化構造になっていないのは。学校は済みでしたね。

(市長：学校はもう平成 27 年度までに全部しました。) 茶屋町では憩いの家、合併から全然やっていないですね。それから支所、支所も耐震化構造になっていないですね。ということで、公民館を一時市(茶屋町支所)へ移転していただいて、市の後へ公民館を新築すれば図書の問題も解決するだろうし、公民館というのは茶屋町ではなく東陽中学校区の公民館だから、今の市の方へ移転して新築するのが一番いいのではないかなと思うんです。大きな構想なんですけど、市長の在任中にいけるのかどうか構想はあるのかどうか。ご意見をお伺いしたいのですが、よろしくお願ひします。

### 《市長》

大変大きな計画のお話がありました。支所ができたのが確か合併してからですから昭和 47、8 年ですかね。(C さん：耐震構造になっていないはずです。) 耐震化の今の基準の前ですから。憩いの家も同じぐらいですかね。市内の各地区の公共的な施設は多くのものが合併後にできてきているというのがあります。3 市合併が昭和 42 年で茶屋町が昭和 47 年、庄が昭和 48 年なんですけどその後でだいたい支所とか施設を作っていますので、45 年とか経ってやり替えが近づいており、いろいろそのあたりを考えないといけない時期に来ているというのがまずあります。まずそれをするために市内全体の公共施設の実情と今後の方針を作らないといけないと思いますので、この建物は何年にできて築何年経っていて耐震状況がどうかなどを調べて平成 28 年度に計画を策定したところです。

それで今後、地区によってはいくつかの施設を合築をして、一緒にしてやらないといけない時期も来るかなと思っております。

それで、市の施設の中で一番大事なのは防災のことでございます。先日も夜中に地震があつて皆さんびっくりされたと思いますけれど、私の方針としましては、まず小中学校の耐震化を全部するというので、平成 27 年度までに終わりました。それから次に幼稚園と保育園の耐震化をするということで、あと 1~2 年ぐらいで全部できる予定となっております。その次に公民館とか憩いの家とかそういう公共施設の耐震化に進んでいくという順番で考えております。ご意見参考にさせていただきまして、実際にそういうことを検討する時には地区の皆さんによくご相談してからしていきたいと思っております。

### 《参加者 B さん》

防災で茶屋町地区、例えば地震が来た時には避難場所があるんですけど、そうでなくて水が上がってきたときはどうすればいいですか。児島湾決壊だとかあるいは今興陽高校のあたりは川の表面より農地のほうが低いんです。水が来たら防ぎようがないんです、茶屋町は。その場合はどこから指令が来て退避せよとか逃げなさいとか、どのように指令されるんでしょうか。それと高いところが全くありませんので、せいぜい小学校と中学校ですかね。4階や5階に上られるのは。茶屋町南部の方々はどこに逃げればいいんですかね。

### 《市長》

これは（ハザードマップを掲示して）平成28年に市が作りました洪水土砂災害ハザードマップというもので、作りました時に皆さんのご家庭に広報紙と一緒にお配りしたんですけど、見たことがある方はどのくらいいらっしゃいますか。（挙手）ありがとうございます。その時に、だいたい自分の家あたりがどうなっているかというのを見られたんじゃないかと思いますが、茶屋町のほとんどの地区は…、ただ、このマップは、国が本当に、ものすごい雨が降ったときにどうなるかというのを想定して作りなさいと一定の基準がありまして、普通はありえないぐらいの、ものすごいのが来た時に茶屋町のあたりでは大人の方の膝ぐらいまでが浸かるぐらいとか、それからちょっと深いところでも大人の方の腰ぐらいまでが浸かるぐらいだろうというのをシミュレーションをしてこれになっています。

これは雨のときですけど、もう一つは地震が起こった時に津波といいますか、茶屋町の地区につきましては津波が遡上してきて大規模な浸水が起こるという想定はありませんので。地震の時に津波で被害があるということはないというふうに聞いております。ただ、一応雨のことも想定しまして、小学校の建て替えをしたときとか、東陽中学校で今給食調理場の部分の建て替えをしているんですけど、ちょっと通常よりは高い建物にしておいて地域の方も逃げていただきやすいようにしようということで、校舎の方もこれまでよりは高いと思います。それから体育館の方も2階に、幼稚園を1階にします。高いところにもしもの場合に逃げていただけるように、東陽中学校についても上の方に、高いところを教室棟にするということで配置はしていますので。

ただ、私が思います中では市内の中でも茶屋町地区は非常に安全な方だと思っております。例えばこの（ハザードマップの）青いところでは、普通はありませんけれど、莫大な雨が降ると1階のあたりまでが浸水する可能性があるとして書いてあります。そちらよりは茶屋町・豊洲地区の方が浸水の可能性が低いというふうに出ておりますので、市内の中では安全な方だと思っています。

### 《参加者 B さん》

防災無線が茶屋町には4基しかついてないんです。4基だと聞こえにくいところが多々あるんですけど。それについてもっと増やすことはできないですか。

### 《市長》

防災無線のことですね。最初につけました時に支所でありますとか中学校でありますとかの半径500メートル以内ぐらいをまずカバーできるようにつけておりますのと、去年の時とかもスマートフォン使われている方には音が鳴ったりしたと思いますけど、そうい

うのなども一緒にしておりますので、今まだ無線と携帯とかと併せて両方で運用状況を見ているというような状況で、また適宜よく調査をしてからやりたいと思っております。

#### 《参加者Dさん》

小学生と中学生と保育園児を持つ母です。Dといいます。2点申し上げます。

1点目は家族の者からで、家と実家もなんですけど、用水路に橋をかける形で家に入りますが、間違えてたらすみません、4メートルまでが税金がかからず、5メートルからかかるってことで4メートルなんですけど、そうすると車を落とすことがあって、私が落とし、主人が落とし、よその人も落とし、私だけではないなと思って。今後こういうことで、ミニバンとか車も大きくなったり（車を使用する）頻度も高くなっていることを思うとちょっと幅を広くしていただけたら助かる方もいるのかなと思いました。これが1点目です。

2つ目は東陽中に行く子どもがいるんですけど、今東陽中の生徒がとても多くなっているってことで徒歩通学の範囲が広いです。中学生だとすごく荷物も重たいし、部活のものを持ち教科書を持ちで、成長期にある子どもたちの健康も心配だし、防犯も、遅くまで部活をしたら暗くなると思うのでそこはとても心配だなと思っています。よそのところを聞くと、少ないところは近くでも自転車で行けたり、全員行けるところもあるみたいで、そういうところで勉強の学力もつけたい、この時期にしてほしい部活や仲間づくりで部活もしたいと考えた時に自転車で行ける子が増えたら、その子どもたちに掛かる負担が少し少なくなるのかなと思いました。例えばですけど、支所の自転車置き場一部を開放していただいてそこまで行ってもいいよとか検討していただけたらありがたいなと思います。

#### 《市長》

どうもありがとうございました。用水路のは4メートルでしたかね、今のように車が大型に（なるに）伴ってという話を伺っておまして、緩和をされるような話も聞いたような気がするんですが、調べてみます。また、連絡いたします。あとは自転車通学のことですよね。東陽中の学区の範囲も広いですしね。今、自転車通学は、何キロメートルからですか。（Dさん：1.5キロメートルです。）1.5キロメートルですか。なるほど。これの緩和ができないかということですよ。確かにその距離が短くできるのであれば、安心なところも増えると思いますので、地域の基準で変えられるのかどうかとかも含めて、また、趣旨は分かりますので、検討してみたいと思いますが、すぐには難しいかもしれませんが、はい、ありがとうございます。

#### 《参加者Eさん》

倉敷平成病院で理学療法士をしておりますEと申します。結論からなんですけど倉敷市の地域包括ケア推進室にリハ職を在籍できないかという話なんですけれども。と言いますのも人は誰しも年齢を重ねていけば生活の中で困り事であったりとか、誰かの手を借りないといけないときというのが必ず出てくると思うんですけど、そういうときにその中でも予防できるものがあって、介護予防というのがすごく大事と言われてる昨今で、我々の職種っていうのは、その方がどういうふうにいけばもう少し元気になれるのかなとか、生活の課題を改善できるのかなとか、どうやったら幸せに生活できるのかなとか、そういうこ

とを考えるのが非常に得意な職種で、地域支援事業であったりとか、地域ケア個別会議であったりとか、そういうことも倉敷市は今年度から進めていくということなんですけれども、そういう中に我々が在籍していくことによって、より具体的に物事が進めていけるんじゃないかと考えておりました、総社市や津山市を見たときに、行政にリハ職が入っているというのがありまして、それによって、通いの場であったりとか、会議というのは質が上がっていたりする状況もあるので、例えば3年契約とかでリハ職を雇ってみるとか、そういう中で予防という側面だったり、一時的になにかしら支障が生じてしまった方も元気にするというようなシステムを作り上げる一助になれないかなと思っておりまして、いかがでしょうか。

### 《市長》

リハ職というのは理学療法士さんということですか。(Eさん：私は理学療法士です。)リハ職というのは職種としては理学療法士さん以外には(どんなものがありますか)。

(Eさん：リハビリテーションの定義としては結構大きいんですけども、一般に言われているのは理学療法士、作業療法士、言語聴覚士と言われていて、総社市では理学療法士が在籍しています。津山市では作業療法士が在籍しています。)

なるほど。地域包括ケアの仕組みの中で、もちろん一番現場のことをよく分かってらっしゃる方が活動されるのが大事だと思うんですけど、うちの地域包括ケア推進室は、今はほとんど事務職だと思うんですけど、それぞれ地区の高齢者支援センターの方とか、小地域ケア会議とかを開催して、そこでいろいろと相談をして、取り組みをしてもらえますので、もちろんリハ職の方が現場のことをよく分かってらっしゃるというのもよく分かるんで、それがうまくマッチできるのか、今、言われたように例えば何年間とか来てもらったりとかして、うちの職員も習うっていうんですか、そういう考えを見つけるということもあるかもしれないので、人事課もいますので、なかなかここで私がすぐOKと言うのも難しいんですけど、また、その考えをいただいてから検討してみたいと思います。どうもありがとうございます。

### 《参加者Fさん》

私はFと申します。天城に住んでいます。要望なんですけど、西風が吹いたら粉塵で家の方が困っているんです。この調査をお願いします。どこが原因だとか。もう一つは水道の水が濁りますので、毎年なりますので、定期的に水道の水の点検をやってもらいたいということ。もう一つは市の工事の関係なんですけど、倉敷駅前の駐輪場の工事で白線を引かしたんですけど、白線の工事が終わったのに、その後にガードマンが来て写真だけ撮って行かれたんです。工事をしているときは警備員もおられなかったんです。その報告はどのように管理されているかなんですか。

### 《市長》

一つ目の水道と粉塵の話は終わりましたからお話をお伺いできればと思うんですが、工事が終わったときの写真ですかね。(Fさん：工事をするときにガードマンはいなくて、工事が終わってからあくる日に写真だけ撮って帰ったんです。)具体的な工事の内容も分からないんですけど、写真を撮るのは工事が完了したときに撮るものではなかったのかと思

いますが…また、後で教えてください。ちゃんとしっかり工事をしてもらわないといけ  
ないので。

#### 《参加者 G さん》

私はGと申します。茶屋町に生まれ、茶屋町に育ち、このまちの地域力で、道のことな  
んです。先日、車で家に帰るとき、ちょうど茶屋町小学校の子どもたちが帰る下校時間、  
黄色のランドセル、一年生です。危ないから安全運転でゆっくり運転していたら、後ろか  
ら煽られました。「このー！」と思ったんですけども、ハッと思ったのが、赤磐市の事故  
のことです。非常に道が狭く、それからガードレールはあるんだけど、用水路の方に無い  
ところもあります。非常に危ない。子どもたちは地域の宝だと思います。学力も大事な  
んですが、地域の宝である子どもたちの命を守るために、道の整備を一刻も早くしないと一  
人でも命を失うようなことがあったら（いけない）。先ほどの道もそうですが、それから自  
転車通学もそうですが、安全を第一に考えてあげないと、このまちの地域力が高まらない  
と私は思います。うちの近所でも大好きな方が用水路に落ちて亡くなりました、去年。非  
常にさみしい思いをしました。茶屋町駅から倉敷へ行く道（県道倉敷飽浦線）がご存知の  
とおり狭い。僕は西田の交差点に出て行きますが、倉敷へ行く道が、おそらく都市計画や  
道路計画でされるんだと思うんですが、これを一刻も早くしていただくようよろしく願  
いいたします。自転車道もなく、歩道もなく、だけど地域の方で順番に（見守りは）して  
いますが、ハードの部分を我々大人がするのが子どもの命を守ることだと思っております。

#### 《市長》

今、この茶屋町の地区、全般的に、県道倉敷飽浦線のところが狭いということじゃない  
かと思えますけれど、都市計画道路として二日市曾根線の計画があります。ただ、まだ進  
んでいない状況です。市としては、県に対してこの二日市曾根線ということについての都  
市計画決定をしているんですから、例えば、この県道をこっちの方に振り替えてもらって、  
つまりこちらの方が、倉敷地区の方から行っても小町トンネルからゆくゆくは直結してい  
けるようになれば一番いいとも思いますし、例えば、こっちの方もやってもらえないか  
ということをお願いしておりますが、まだ、今のところ進んでいるという状況にはなっ  
ておりません。つまり大きな道路がいくつかできることによって交通量が分散されますので、  
そういうことを検討してもらいたいということを要望しておりますし、今後も、こういう  
形で住民の皆様からの要望も非常に強いということを書いて交渉していこうと思ってい  
ます。どうもありがとうございます。

#### 《参加者 H さん》

早高自治会長のHと申します。よろしく申し上げます。先ほどから出ています公民館の  
建設という問題でございますが、実は早高自治会の方で、今年、老朽化のために、近い将  
来ですね、公民館を耐震工事じゃなくて、建て替えをやるということによって皆さんの了解を  
得ました。これについてはですね、やはり資金の問題がありますので、10年後までには  
建て替えたいと思っておるんですが、あと資金をどのようにしていくかということで、補  
助も新築の場合の増額をと思っております。

順番に説明させていただくと、まず、今の公民館は1920年、大正9年です。約百年

前。かなり古い木造で、非常に老朽化をしております。こういった中で公民館は老人会とか、子ども会、自治会の各種イベントなどいろんな会合をやってまして、地域のコミュニティの中心となっています。それから防災についても指令所の重要なポイントとなっている、そういった中で、事例を言わせていただくと、阪神大震災のときに西宮のすぐ近くにおりまして、震度6を経験いたしました。これはものすごい衝撃を受けました。けがはなかったんですが、大変な、一歩間違えば死ぬかなというのはありました。

こういった中で30年以内に南海トラフ地震が起きると想定されているんですから、何としても早急に建て替えをやらねばならないと、先ほど申しましたように百年前ですから、耐震・改修とかそんなレベルじゃないと、もう建て替えをやっていきたいと思っております。百年前ですから強度の方も推して測るべきかなと思っております。現在では、40坪程度で費用が2,200万円程度の計画をしておりますが、市からの補助金は最高800万円です。残り1,400万円を自治会の方で負担するとなるとかなりの負担で、先延ばしになる可能性もあるので、この800万円の最高額を何としてでも上げていただいて、少しでも早くなるようお願いしたいと思います。いろいろご無理な、予算上大変だと思いますが、何分地域のコミュニティのためによろしくお願いしたいと思います。

#### 《市長》

自治会コミュニティ会館の改修の補助金はなかなか、今後の改修の全体の分量がどのくらいあるかにもよって、それが考えられるかどうかということも変わってくるかなと思うんですが、今も地区の大きなものは800万円が上限ということで、市の中では最大の補助金額ではあるんですけど、例えば、その大正時代のものを一部残して、新築の部分をするとかいうのは検討していないですかね？(Hさん：していませんね。)そうですか。大正時代の建物が残っているのと言えば倉敷美観地区の倉敷館か、早高の自治会館かというような感じに今、お聞きしたものですので。(Hさん：だから工法的には非常に弱いですね。)

例えば倉敷地区で言うと倉敷西中学校があるんですけど、木造の校舎ですけど、これは逆にしっかりしているんですよ。市の中学校なので耐震化はしてるんですけど。木造の部分もある程度残しながら、例えばそれにくっつけて新しいところをすれば、少し費用も抑えられて、今のものも活かしてできるような方法とかないのだろうか、今、ちょっと素人考えで言ったんですが。また、市の方もいろいろご相談とかにも乗らせていただきたいと思いますので。その中でよりよいものにできればと思いますので。計画があることは分かりました。ありがとうございます。

#### 《参加者Iさん》

本日はありがとうございます。早沖の方に1年ほど前に引っ越してきましたIといいます。伊東市長にお伺いしたいんですけど青年団という団体をご存知でしょうか。(市長：地域の青年団のことですか?)そうですね。古くは茶屋町は如蘭社とか共睦社とかの青年団があったそうで、犬養総理がその如蘭とか共睦の名付け親だという資料をここの公民館でまとめられてた資料を読んでいたんですけど、僕は青年団という組織の県の会長をやってまして、今、全国の役員をやっているんですけど、その中で地域力という意味で言うと、青年層の社会教育というのはすごく重要なかなと思って、活動を日々させてもらっているんです。

倉敷には倉敷市青年団というものはなくて、僕が知る限りでは笹沖にすごく小さな青年団がひとつあるのと、真備の方の青年団は確か成人式のお手伝いをしてますかね。岡山県は壊滅的というか、本当に県組織で加盟してやってるのは鏡野町だけなんですけど、市として青年層の青年教育、社会教育というものにどれぐらい力を入れていただいているのかなって部分と、あと県の社会教育委員をやったことがあるんですけども、そのときにやっぱり会議に出ても、青年というよりは子ども教育、子どもの事業とかにすごく力を入れられていて、それも分かるんですけども、子どもを育てるのって僕ら青年層だと思うので、その辺にもっと力を入れていただきたいなって部分と、何年か前に野球のフレンズさん、あれは僕らの青年大会の全国大会で優勝して表敬訪問させていただいた団体なんですけども、そうやって頑張っている若者もいっぱいいるのでその辺にも目を向けてほしいなという部分と。

もう1点、防災の話が何件か出ているんですけど、2011年は青年団の県の会長をやってました。岩手県の陸前高田市の方に何年も入って、復興支援だとか、防災とか減災の活動を細々ながらやってるんですけど、その中でさっき災害が、いざあったときに避難できる箱はあるということなんですけど、そこを運営するようなソフト面は市としてどういようなものがあるのか、訓練とかそういうものをされているのかという部分を知りたいです。やっぱり避難所っていうのは被災者が被災しながら避難所も運営していかなければいけないっていう結構悲惨な現実もいっぱいありまして、その辺を少しでも改善というか、いいようになるように、その辺の訓練とかシステムとかがどれくらいできているのかなってということをお伺いしたいなって思います。

#### 《市長》

どうもありがとうございます。倉敷市で青年団に特化して何か支援しているとか、青年団と一緒にやっているのは今のところないと思います。一方で青年会議所さんとかが各地区にあって一生懸命活動していただいているので、もちろん市から補助金とか出てないんですけど、各団体で頑張っていただいているのはあるかと思います。青年の活躍というのは非常に大切なことだと思いますので、例えば公民館などを通じまして、今言われたように、青年の方にももっと受けていただけるような講座とかも大切だなと今思いました。ありがとうございました。

それから防災のことなんですけど、倉敷市では昨年避難所の運営をするためのマニュアルを作りまして、1年半位ずっと検討してきまして、各避難所、小学校区だったら小学校にそれを備え付けまして、また地域の自主防災組織の方と一緒に、去年できたばかりであまり有名にはなってないんですけど、岡山県内で初めて作りまして。避難所を設置したときにどういうことを、実際今言われたように避難所の運営というのは避難をして来られた方がすると、もちろん市からも行くんですけど、長期間になってくるものですので、そういうことを詳しく書いた手引きのようなものを作りまして、運用を始めたところです。これが岡山県内では倉敷市しか作ってなかったもので、それが今岡山県内全体の避難所運営の手引きに、実はこの前の県内の防災会議でなりまして、また皆さんの方にもお知らせしたいと思います。どうもありがとうございました。

#### 《参加者Jさん》

小学校3年生と中学1年生の娘を持っておりますJと申します。子どもの医療費についてなんですけど、現在小学校卒業するまで無料で受診させていただくようになっていて、とてもありがたいお話ではあるんですけど、やはり他の市とか早島町もですけど、中学校卒業までというところもありまして、子どもをたくさん持たれるお母さん方もおられて、できれば中学校を卒業するまで、義務教育の間は助成をしていただけたらありがたいなと思います。

現在倉敷市は入院の分はしていただいて、それもありがたいなと思うんですけど、実際に入院をするっていうことはさほど多くはないと思うんですね。私も病院の方に勤務してまして、やっぱり小児ぜんそくとか持たれているお子さんというのは、15歳位までの間に改善される方も多いんですけど、それまで継続治療を必要とされる方もおられますので、そうするとやはり家庭の負担は大きいかなという部分もありますので、その辺を検討していただけたらありがたいなと思います。

### 《市長》

どうもありがとうございます。今おっしゃっていただいた子ども医療費の無料化の公費助成のことですけど、私が市長になりました時の公約でも、まず小学校までなんとか拡大しようということでやってきまして、中学校までの拡大ということで、入院の方まではなんとか拡大できたんですけど、そこで色々な学校施設の課題という中で、実はエアコンの問題が出てきまして、市の施策の中で子どもさん、学校施設などに配分する予算はある程度全体の中で決まるんですけど、もちろん全部できればいいんですけど、今中学校の通院分の無償化ができてないのは、うちと岡山市、つまり大きなところが額も大きいので、できてない状況でして、それで倉敷の場合は学校の教育環境の充実ということで、エアコンをとにかく、暑いので子どもの体調面も難しいので、また受験もあるので、エアコンをなんとか中3から順番につけてもらいたいと、市議会からも言われているんですけど、もちろん医療費のことを言うてくださる方もいらっしゃるんですけど、今現状はなんとかまずはエアコンの方を、この温暖の社会の中ではつけないといけないかなということ、ここ何年かでやっとエアコンの方をまずつけたという状況になってます。

まだ先行きどうできるか未定なんですけど、今市議会などから、小学校のエアコンはどうなんだということを言われていまして、もちろん小学校にエアコンをつけること自体の、逆に子どもさんへの影響というのを、子どもは休み時間に外でどんどん走ったりして汗をかくのでエアコンで急激に冷やしたらいけないということもお医者さんから言われているので、まだ検討の段階ということで、あるお金の中で優先順位を決めていく中で、なんとか中学校の入院までやった次にエアコンの方が今来ているという状況でして、今後また検討してきたいというふうに思っております。お母さん方からの要望があるというのは私もよく承知しておりますので、そういうことも踏まえて、色々な御意見をお伺いしていきたいなと思います。ありがとうございます。

### 《参加者Kさん》

茶屋町の愛育委員の代表をさせていただいておりますKと申します。それとは別にファミリーサポーターのセンターでサポーターを丸8年させていただいています。病気の子どもさんを保育園に迎えに行ったり、お母さんのお迎えが遅くなる児童を学童保育や保育園に

迎えに行ったりしてます。その中で一番困ったのは待機児童が、お母さんの仕事が先か、保育園へ入れるのが先かという問題がすごくあるんです。それで待機児童の相談に行くのに、窓口が役所の勤務時間で終わってしまう。1週間に一遍だけ何時間か、(市長：木曜日です。)木曜日ですね。相談する方法も苦しいと。希望する保育園が空いたら1・2・3と順番にそこへ入れていただけると。選択方法ですね。スーパーで並ぶ方式じゃなくて、JRのみどりの窓口で並ぶように、ここが空きましたからどうですかというふうな相談をしてほしいなと思います。一日預かる分には本当ものすごい金額になるんですけど、お母さんは背に腹は代えられないということで預けられました。

それから病児保育ができる病院が欲しいです。倉敷には羽島のこども病院と水島の病院があるんですけど、私たちは茶屋町で近いから、大福の青木病院に連れて行ってるんです。そこが割とすっきり入れてくれますので。ですから近くに病児保育のできる病院が欲しいです。それから私が思うのに、保育園の中に保健師さんと小さくてもいいから保健室が欲しいんです。そうしたら、急にお母さんを呼び出さなくても、そこで一時ストップがきくと思うんですよね。予算の問題がと言われると思うんですけど、少しの人件費で病室も職員室の一角をお借りしてスタートしていただいたら、徐々にいいようにしていただけるかなと思うんです。そのことを是非お願いしたいと思います。

#### 《市長》

どうもありがとうございました。今全部お答えできる内容じゃないんですけど、病児保育の重要性はよく分かっておりますので、市でも、まだ幾つかしかないんですけど、なるべく受けていただけたところが増えればいいなと思っておりますので、そういう中で検討していきたいと思っております。保育園の方、それとも学童保育どっちですか。今の保健室の方は。(Kさん：学童じゃなくて保育園です。)保育園ですね。保育園は作る時に、最近ではなるべく余裕を持って作って、保健室とまではいかないんですけど、体調が悪くなるとか、パニックになる子どもさんもいらっしゃるんで、ひとつ隔離できるようなところも、なるべく設けるようにはしてもらってるんですけど、狭い中ではありますけど、そういう方策もなるべくとれるようにというふうには、担当部局の方には言っていきたいと思っております。どうもありがとうございました。

#### 《参加者Lさん》

私市民活動推進課の事業を2つ協働でやっておりますLと申します。私は今日いい機会でありますので、このまちの地域力プラス倉敷力ということで、少し参考になるんじゃないかなという願いをしたいと思います。

G7の教育宣言の中にご存知のとおり数々ありますが、現在私が市長の言葉の中で知ってますのは、年頭のご挨拶の中で小学校とか児童生徒のグローバルゼーション、それから教員、地域社会もやっぱり国際化ということで分野を広げていく必要があるというお話を記事で拝見いたしました。それでG7の中にESDがあります。これはご存知の方も多いと思いますけど、持続可能な発展のための教育ということで、これからのまちづくり・地域づくりのためには非常に大事な要素を含んでいると思っております。

具体的には、これは非常に幅広い取り組みがなされる必要があるんですけど、まず公民館の機能を拡充という意味で、ESDの考え方を取り入れたらいかがかんと思っておりま

す。倉敷においては、公民館は人権推進をメインにして、これもそれなりの成果を上げておりますけれども、少しそれに特化して分野が狭いんじゃないかなと思っております。ESDは貧困でありますとか、もちろん人権もありますし、平和問題もありますし、環境もあります。私は以前から岡山市との交流も持っております、岡山市は10年来やっております。それなりの成果を上げております。そういうことで、一つ岡山市を参考にESD導入を考えていただけたらと思っております。

### 《市長》

どうもLさんありがとうございました。倉敷の地域力ということで、今特にESDということで、Education For Sustainable Development、持続可能な発展のための教育という意味の略だったと思えますけれど、これについては、岡山市さんが何年か前に世界大会をされまして、非常に進んでらっしゃることはそうだというふうに思っております。ただ倉敷市も、公民館、もちろん人権教育も非常に頑張ってお力を入れて皆さんしてくださっているんですけど、それだけではなく、地域の子どもさんから年長の皆さんまでのいろんな幅広い文化とか、芸術とか、地域の伝統を守るとか、いろんなこともしていただいておりますので、ただその考えというのが、やっぱり全体としては、今言われた持続可能な発展というところがすごく大切なところだと思いますので、そこらへんもよく踏まえながら、また岡山市さんもよく参考にさせていただきたいと思っております。どうもありがとうございます。

### 《参加者Mさん》

茶屋町学区のゆめっこクラブで運営委員をしておりますMと申します。ゆめっこクラブもそうなのですが、茶屋町のおにっこクラブというのもありまして、そちらは私の一番上の娘が小学校に上がる時に立ち上げたんですが、今ゆめっこクラブの方は一番下の娘がお世話になって、それ以降運営委員、倉敷市の学童保育連絡協議会の方にも関わらせていただいております。伊東市長が市長になられて「子育てするなら倉敷で」ということで、学童保育の方も市から支援金をいただいて、随分助かってはいるんですけど、先ほどから出てます安心・安全ですとか、子どもたちのことを考えた時に、とても素朴な疑問なんですけど、小学校・中学校・幼稚園・保育園、子どもたちが関わる施設って大きくそういうものがあると思うんですが、その中でプレハブ教室を常にしていない所というはないと思うんです。市内の学童保育を見てもプレハブなんです、全部。しかも、ゆめっこも10年以上の建物になって、床のほうがごわごわしてるんですけど、どうして学童の子だけこういう思いをしているのかなど。先ほどお話のありました保健室ももちろんございません。子どもたちが勉強する落ちついた環境もございません。そういうようなハード面、優先順位があるというのも重々分かってはおりますが、厚労省の方が小学校1年生に関しては、学校で過ごす時間よりも、長期休暇は1日学童で過ごしますので、学童で過ごす時間の方が年間通じて長いという数値が出ております。その中で子どもたちの環境というものを考えた時に、学童保育というものも、小学校・中学校・幼稚園・保育園と並んで考えていただけるように、お願いできたらと思います。

### 《市長》

どうもありがとうございました。ゆめっこ・おにっこ、学童の運営委員としてご尽力いただいておりますこと、誠にありがとうございます。施設のことなんですけれど、実は、2年ほど前から市として学童保育の建て替えなどの時に必ずプレハブじゃなくてもいいという基準には、一応変えはしたんです。実際まだ木造が1つあるだけですが、プレハブも仕様を年々向上させて、児童が快適に過ごせるようにとは思ってまして、市としてそちらの方向にも一応踏み出したというところはあるかと思っております。それから、子ども1人当たりの面積の方も広くしないといけないという結構非常に切実なところがございしますので、そのあたりも含めてなるべく早く面積基準を。非常にさっきから、どれも全部やりたいところなんですけれど、なるべく頑張りたいとは思っております。ご意見ありがとうございます。

### 《参加者 N さん》

今日はありがとうございます。商工会の幹部役員をさせていただいておりますNと申します。皆さん何人かの方から災害時の防災の関係の話をいただきまして、私も今回は是非そこはテーマとしてお聞きしたかったんですけども。そもそも、人として近所に声をかけ合ったらどうですかという基礎的なところから取り組んでいただけたらどうか。予算ゼロですから。市長にどんどんそのへんをPRしていただければ、低予算でかなうことだと思いますし、これは根本的に地域住民として最も大事なことだと思っております。商工会としてもそういう部分は取り組んでいきたいと思っております。

あと、避難場所のこともありましたけど、JRの茶屋町駅とも交渉させていただきまして、あそこの広大なところを利用できたらというふうにも常々考えております。まあ南海トラフ級のものがあつた場合はどこへ逃げればいいのかという話になるんですけど。

ちょっとこの間、面白いグッズを手に入れておりますので、ちょっと音が大きいですけど我慢してください。空襲警報みたいなもんです。(手動式サイレンを取り出し、鳴らす)今は全開じゃないですけど、これがだいたい夜ですと300mから500m、聞こえます。これ15,000円ぐらいのものなんですけど、町内に消防団の関係の方とか、地域住民の代表の方が10基ほど配備しとけば、防災無線とかもしそういった電気系のものがトラブルが起きても、これはもう10年以上もちますから。手回しでコストかかりませんので。1回導入を検討していただけたら。参考に自衛隊系ですけど持って来てます。取り組んでみてください。

できればこの地域から死亡者ゼロというのを目指した地域がいいんじゃないかなあということと、あと、最近思うんですけど、生徒さんが多い割には町の街灯がちょっと少ない。ちょっと暗いところがあるんです。このへん紹介の方で地域の推進委員会でやっているんですけど、100基とか200基とか、ある程度の数をつけていったらいいな。当然市からも助成金が必要になりますんで、そのへんすり合わせをさせていただけたらありがたいなあと思っておりますので、よろしくお願ひします。

### 《市長》

ありがとうございました。初めて見ました、(その)サイレン。本当にいろんな手法で緊急を知らせることができたらいいなというふうに思っています。ちょっと後でまた見せてください。お願ひします。

それから街灯のことについては、市も昔よりもまず街灯とかについての補助を増やしております、あとまた最近LEDとかにもしていただいて、地元の負担も少ないようにという方向にしておりますので、なるべく地域の要望を、ただ1地域から例えば1年に8基ぐらいまでとか制限はあるんですけど、なるべく多くのところに行き渡って、かつ年次計画とかでやっていただけるようにしていきたいと思っております。

#### 《参加者Oさん》

Oと申します。よろしく申し上げます。結論から申し上げます。障がい者雇用支援とか、シルバー人材センターとかそういうのはよく耳にするんですけど、介護、私は障がい者の息子がいるんですが、介護者の就労支援というのがやっぱりまだ十分じゃないと感ずることが多々あります。やっぱり急な病気とかでなかなかフルタイム勤務は難しいし、急にお休みをいただかないといけないし、ということで難しいんですけど、できれば企業さんとかそういうところへ働きかけをしていただいて、少しでも仕事ができれば、というのが、(介護をしているから)仕事してない人がいて、ちょっとでも仕事がしたいという意欲はあるんですけどなかなかできない現状をどうか支援していただけたらいいなと思っております。よろしく申し上げます。

#### 《市長》

どうもありがとうございました。今現状でレスパイトサービスですか、介護者の方が一時的な用事とかでというのはあるんですけど、就労支援のことについては、市の方もそういう観点で、企業さんとかに呼びかけしたりっていうのがまだまだできてないというふうに思いますので、例えばお家でしていただけるような仕事とか、今IT社会にもだんだんできてきていますので、そういうのを使って、おうちでお仕事をしていただけるような機会がもっと広がるようになればいいなというふうに思うんですが、どうでしょうか。

#### 《参加者Oさん》

あと、市役所内での雑務、資料とじとか郵便物の袋とじとか。ああいうのはシルバーの方がされていると思うんですけど、ああいうところに仕事をいただけたらありがたいかなっていう話もあるんですけど、また検討していただいて、月に1万円でも収入があればと思いますので、よろしく申し上げます。

#### 《市長》

どうもありがとうございました。

#### 《参加者Pさん》

茶屋町では交通安全母の会を担当させていただいておりますPと申します。茶屋町は商業施設っていうんですか、お店がたくさん、明日も1つ大きなお店が開店するんですけど、そこがちょうど小学生とか中学生の通学路になっているんです。東西に抜ける道もございませんし、それから今商業施設があるところが、すごく子どもが通っているのが危ないんですよ。それをどうかしないと、今G先生がおっしゃいましたように、将来のある子どもたちがやっぱり命が大切じゃないかなと感じております。それと市長に1つお聞

きしたいのが、茶屋町には用水がすごくたくさんあるんですが、その取り組みは倉敷ではどういうふうにお考えになっているのかお聞きしたいと思います。

### 《市長》

ありがとうございます。交通安全の関係の皆さん、本当に毎日道路の方に出ているいろいろな活動していただいていることで、子どもたちも安全になっているということで大変感謝しているところでございます。子どもたちの通学路の安全っていうことについて、本当に大変大事なことだと思っております。先ほども防犯灯、街路灯の話も出ましたし、用水の話も出たんですけど、全国の中でも岡山市と倉敷市は非常に、岡山県内全般そうなんですけど、もともと田園地帯ということで、用水路が非常に多いという状況の中で、今転落に関する緊急点検などを毎年やっておりますが、その中で、なかなか先ほどもお話いただいたんですが、全部にガードレールができればいいんですけど、場所的にそれも難しいような状況でして、反射板を必要なところは付けたりとか、それからどうしても本当に道を広げないといけないところは広げたりとか、板をかけたりというところをしているような状況で、どうしても対症療法のような形にはなっているのが大変申し訳ないんですけど、市としては、何か事故が起こったらそこで対応するというのではなく、地元の交通関係の皆さん、土木の皆さんとよくご相談して、1人でも事故のないように取り組んでいきたいという思いを持っておりますので、今後ともよろしく願いいたします。

### 《参加者Qさん》

帯沖のQと申します。茶屋町も人口が非常に増えてきて、今現在車で皆さん通勤とかそういうことで出られるのに、どちらへ出ても車が（混んでいて）走れないと。今日市長どちらから来られたかわからないんですけど、多分だいぶ停滞してたんじゃないかと思えます。（市長：そうですね。）その幹線道路を岡山の方も倉敷のバイパスの方も含めてどちらも足りない。それがために今言う道路の、先ほどから言われている、小学生であるとか中学生であるとかに非常に危険があるというふうなことで、そこらへの道路の拡張をやったらいんじゃないかということで、1つお願いをしたいと思えます。

それで今倉敷市の財政が、固定資産税が369億円。それが半分近い金額を占めている。というふうなことで、街灯なんかでも民間力を使って、多少コマース的なものが付くかもわからないですけど、やればもうちょっと明るい街になるんじゃないかと。（市長：民間の方が付けると。）そうです。前それやってたんです。それが最近取ってしまって。（参加者：15年ぐらい前。町並みの美観を損ねるとかで）美観より明るい方がいいです。費用的なものは民間の各お店屋さんとか企業さんとかでできると思えますんで。明日からでもいっぺんに茶屋町を明るくすることができるんじゃないかと。

それよりはできるだけ車とか自転車とか、そういうものが安全に走れるようにしていただいて。それから通学路というんですか、それは1本大きなものをずぼっと通していただければいいんじゃないかと。大きなもののほりを約1mあつたら大体できると思うんです。農地を1m、早島の方から帯沖の方まで、ずぼ一と。

それを1つ市長に提案です。今企業は人手不足で困ってるんです。市の方も人手が余っている時には職員を採用してもらっていいんです。それで5%ほど職員の数を減らしていただいたら、そうしたら大体1年で13億円ぐらい浮くんです。それで（土地を）買って

いただけたらすぐいけます。考え方を覚えていただいて、ISOでやって文書で残すと。2人行かなくても1人でいいと。1人で行って今日何を打ち合わせしたか、きっちり1人で処理をします。ISOはそういうことなんです。そこらへんもよろしくをお願いします。

### 《市長》

ありがとうございます。最後に大変大きなお話と厳しい話をいただきました。市の方もあんまりこのことについてPRしているわけではないんですが、実は平成15年ぐらいの時には、市の職員は大体4,500人ぐらいおりました。そこから今実は、前の中田市長さんの時から、私になりまして、なるべくできるものは民間の方に仕事をお願いしてこうということでありまして、市の施設についても、先ほどもお話がありましたけれど、例えば統合したりしてより効率化してまいりまして、4,400人ぐらいおりました職員を、3,300人ぐらいまでここ15年ぐらいで減らしてきたところでございます。

それによって、平成20年ぐらいの時には大変な国からの財政改革がありまして、1年間で国から来る補助金が、60億円ぐらい地方交付税が減った時がありまして、その時はもう既に職員の数も減らしてきていたんですけど、そこからさらに、かなり人数を切り詰めてきてまして、今も本当になかなかこれ以上減らせられないような状況になってきておりまして、それでも会長はまだまだとおっしゃるかもしれませんが、(Qさん:まだまだ)市としてはなるべく効率的にして、それから市の職員じゃなくてもできるものは、なるべく民間の皆さんとか外にもお願いしてやることによって、市の職員ですともちろん固定費になりますので、そうじゃなくてもできるものはなるべくという思いは持っております。そのぶんで道が買えるかどうかはわからないんですけど。交通安全の茶屋町の道の狭いところとかいうのは、今日のお話でもそうですし、皆さんの実態でもお話をいただきましたので、よく気をつけていきたいと思っております。

大変時間を過ぎまして申し訳ありませんでしたけれど、今日本当に幅広い観点で皆様からお話をいただきまして、市のこれからの政策に色々な面で市民の皆さんの意見ということで参考にさせていただきたいと思っております。本当に今日は長時間に渡りまして、ありがとうございました。感謝申し上げます。

### 《終》